

特定非営利活動法人 日本機能性イオン協会

機能性イオン講演会

～マイナスイオンとホルミシス～

2018年12月8日(土) 早稲田大学26号館(大隈記念タワー) 1102会議室

企画実行：日本機能性イオン協会 事業委員会

秋涼の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。今回はマイナスイオンとホルミシス、この2つのテーマについて、それぞれ長年研究に携わっておられます先生方へ下記内容にてご講演頂きます。ご多用中とは存じますが、大勢のご参加をお待ち致しております。

13:00	開 会 宣 言
13:05 14:35	<p>『 空気中マイナスイオン研究の経緯とこれから 』</p> <p>神経痛、関節リウマチなどの疼痛性疾患、気管支喘息や自律神経不安定症は、寒冷前線の通過などの気温、気湿、気圧変化が複合的にその発症や経過に影響を与える。これらの疾患に対して気候療法は、転地療法・温泉療法・保養地療法として施行されてきた。</p> <p>気温変化は、皮膚の温冷覚の知覚・中枢・自律神経系を介した血管・筋収縮など疼痛に関与する生理作用が示される。気圧変化は、内耳リンパ系での疼痛発生機序が近年報告された。日本でも天気予報と関連し健康関連情報が得られるようになりつつある。</p> <p>気候による空気中成分変化は、呼吸器系から取り込まれ生理的作用や、嗅覚を介した生体防御反応を促す可能性がある。空気中マイナスイオンは1899年にElsterらが報告し、その後、植物の成長、微生物の殺菌作用、人への生理作用が報告され、1930年代には、国内でも活発な医学研究がおこなわれた。海・森林・滝などの自然界で発生する空気中マイナスイオンは、Lenard効果と呼ばれる水分子の衝突エネルギーで発生する。空気中マイナスイオンは、荷電した水分子(H_2O)$_n$にOH^-、CO_3^-、NO_3^-、$O_2^-O_3^-$=オゾンなどが結合した相互に電子の受け渡しをしながら不安定な状態で存在していると思われる。その全貌は質量分析法で可能であるが変化の全貌を把握することは困難である。オゾンは一般的な人の嗅覚で環境基準0.05ppm以下でも検知できるため、嗅覚が接続する古(旧)皮質や大脳辺縁系・扁桃体など、ヒトの本能や快・不快・恐怖など原始的な行動に関係するものと思われるがその機序はfMRIなど今後の研究処方が発達が待たれる。</p> <p>1997年頃より、大手家電業者の空調・加湿器のみならず、日用品企業からもマイナスイオン機器・グッズが無数に発表され、マスコミを加えた大ブームとなった。日本生活協同組合連合会は2002年に、①放電型は環境基準以下のオゾン発生量のもののみ、②レナード効果による水破砕型製品はレジオネラ菌対策により加湿器として、③放射線鉱石による寝具類は微量被曝のため、トルマリン製品は科学的根拠がない点で取り扱わないなどの方針表明し、商品の開発・研究ブームも衰退した。気候療法における空気中成分と生理学的研究には、より慎重な産学研究体制や研究姿勢が必要と思われた。</p> <p>渡部 一郎 氏 青森県立保健大学理学療法学科 教授 医学博士</p>
14:35-14:55	休 憩
14:55 16:25	<p>『 脳からみたホルミシス 』</p> <p>ホルミシス現象は病気の改善に役立つものであるが、そのメカニズムは脳から見ると視床下部が大きく関わっている。ホルミシス現象で病気の予防、改善に役立たせるには視床下部を活性化するのが肝要であり、そのためには日本精神をもった生き方をするかどうかが大きな鍵になる。そのあたりを吉田松陰の人生を例にとってお話する予定である。</p> <p>篠浦 伸禎 氏 がん・感染症センター都立駒込病院 脳神経外科部長 医学博士</p>
16:30	閉 会 宣 言

- ・ 日 時：平成30年12月8日(土)
講演会 13:00~16:30
懇親会 17:00~18:30
- ・ 参加費：一般 ¥7,000-
会 員 ¥3,000-
- ・ 懇親会費：¥ 5,000-
ダイニング フェリオ
(リーガロイヤルホテル東京 1F)

・ 会 場：早稲田大学
26号館(大隈記念タワー) 1102会議室
東京都新宿区早稲田鶴巻町 516-1

・ 申込要領

下記申込み用紙にご記入の上、FAX又は E-mail にて日本機能性イオン協会事務局にお申込み下さい。参加費は下記口座へお振込み下さい。お申込み・お振込みの締切りは **11月30日(金)** です。申込み者ご本人が欠席される場合の返金は致しませんのでご了承下さい。その場合、代理の方が参加頂いても結構です。お申込みは受付順となりますが、満席の場合はお断りすることがございます。

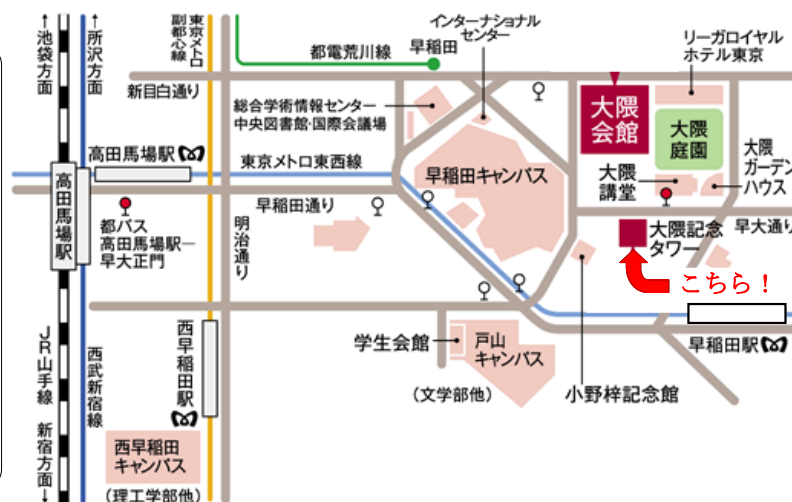
振込先 三菱UFJ銀行 江坂駅前支店 普通0994311
ゆうちょ銀行 記号14020 番号28781471
口座名：日本機能性イオン協会

【電車でのアクセス】

東京メトロ東西線 早稲田駅 徒歩5分
東京メトロ副都心線 西早稲田駅 徒歩17分
JR山手線・西武新宿線 高田馬場駅 徒歩20分
都電荒川線 早稲田駅 徒歩5分

【バスでのアクセス】

都バス 高田馬場駅前から「学02早大正門前行」
早大正門前下車 徒歩1分



参加申込書

FAX ; 06-4809-4099
E-mail : ion@japan-ion.jp

参加企業名			TEL
御住所 〒			FAX
参加費(税込み)	参加人数	小計	参加者名
一般	7,000	人	
会 員	3,000	人	
懇親会	5,000	人	
お振込み合計金額 : ¥			請求書 領収書
(振込手数料は御負担下さい)			(要・不要) (要・不要)

上記御住所に当協会のご案内をお送りさせて頂くことがありますが、個人情報法令に基づき厳重に保管させて頂きます

特定非営利
活動法人

日本機能性イオン協会

JAPAN ASSOCIATION OF ION
大阪市東淀川区東中島 1-19-11 大城ビル5F



RESEARCH AND APPLICATION
tel:06-4809-4098 fax:06-4809-4099